作業工程計画書（訓練課題作成手順書）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作業工程 | ポイント（留意事項等） | 参考資料（写真、図面等） |
| 準備 | 1. 工具の確認・整備 2. 材料の確認 3. 作業着、作業帽、手袋、腰袋 | CIMG8266.JPG |
| 1. 住宅用分電盤（HEMS対応）を取付ける。 | 模擬家屋や電工板に取り付ける際に水平器などで水平に取り付けられているか確認する。 | IMG_1770[1].jpg |
| 1. 発電蓄電連携装置の配線 | 圧着端子を使用する場合は、ねじと電線の規格に合う圧着端子を使用すること。  圧着も正しい刻印か確認する。  各相の誤配線がないよう確認する。  例）5.5R-6、5.5R-5 | IMG_1765[1].jpg |
| 1. 太陽光発電パネルの設置 | 別途課題に合った作業を実施。 | IMG_1506[1].jpg |
| 1. HEMS対応機器の電気配線 | システム構成図等を見ながら、適正なケーブルで配線工事を行う。 |  |
| 1. 通信設定 | HEMSモニタと通信ができるよう設定する。  タブレット端末でも操作できるようにする場合は、別途無線ルーターなどの設定が必要。 | IMG_1768[1].jpg |
| 1. 系統連系、自立モードそれぞれの動作確認 | CTの取付間違いや配線間違いがなければ、系統連系モードでの動作確認が可能。 |  |
| 1. 通電試験用の電気配線工事 | 別途課題に合った作業を実施。 |  |
| 1. 回路計（テスタ）による導通試験 | 負荷（白熱電球）を取付け、回路計を抵抗レンジ（Ω）に合わせます。  照明器具は、SWのON・OFFでの確認。 |  |
| 1. 絶縁処理 | ジョイントボックス内の圧着処理箇所に絶縁処理（絶縁テープ巻き）を施します。 |  |
| 1. 通電試験 | 電源（AC100V）を投入し、検電器により充電部を確認します。SWのON・OFFによる照明器具の点滅、コンセントの電圧を確認します。 |  |
| 1. HEMSモニタ等での確認 | 使用している電気機器の電力値とCT等による測定結果の値の確認。  太陽光パネルの発電や蓄電池ユニットの電気の流れの確認。 | IMG_1514[1].jpg |

作業工程計画書（訓練課題作成手順書）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作業工程 | ポイント（留意事項等） | 参考資料（写真、図面等） |
| 準備 | 作業場所の確認・整理  工具の確認・整備  材料の確認 |  |
| １．チョーク打ち  ２．住宅用分電盤の取付  ３．発電蓄電連携装置の電気配線  ４．配線・器具の取付  ５．目視点検  ６．**（　絶縁　）**抵抗測定  ７．**（　導通　）**試験  ８．**（　通電　）**試験 | ケーブル・器具を取付ける際に基準となる線を引く。  取り付け位置や傾きの確認を**（　水平器　）**を用いて確認する。（脚立を使用する場合は、使用方法の確認を行うこと）  電動工具を使用するときは、手袋を**（　外して　）**作業をする。  推奨電線種以上の太さのケーブルを使用する。  端子接続するための圧着端子の規格もJISに適合させること。  推奨圧着端子は**（　R端子　）**。  通線作業を行う前に管は清掃しておく。電線や器具には傷をつけないように作業する。（電工ナイフで指を切ったり、**（　金づち　）**で指を叩かないように気をつける）  器具の取付や電線の接続等に誤りがないか確認する。  **（　絶縁抵抗計　）**を用いて測定を行う。適切な測定結果が得られない場合は測定を中断し、不良箇所の確認し作業をやり直す。  **（　回路計　）**やベルを用いて回路に誤りがないか確認する。誤りがあればその部分の作業をやり直す。  試験時はブレーカーの開閉状況よく確認して感電することのないように動作確認を行う。 |  |

（　　　　）内に当てはまる適切な語句を選択肢から選んで記入しなさい。

選択肢　　　　　　メガ　　取付　　導通　　通電　　絶縁　　接地　　相回転計　　検電器

金づち　　ガストーチ　　加工　　通線　　ドライバー　　テスター　　接地抵抗計

作業工程計画書（訓練課題作成手順書）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作業工程 | ポイント（留意事項等） | 参考資料（写真、図面等） |
| 準備 | 作業場所の確認・整理  工具の確認・整備  材料の確認 |  |
| １．チョーク打ち  ２．住宅用分電盤の取付  ３．発電蓄電連携装置の電気配線  ４．配線・器具の取付  ５．目視点検  ６．**（　絶縁　）**抵抗測定  ７．**（　導通　）**試験  ８．**（　通電　）**試験 | ケーブル・器具を取付ける際に基準となる線を引く。  取り付け位置や傾きの確認を**（　水平器　）**を用いて確認する。（脚立を使用する場合は、使用方法の確認を行うこと）  電動工具を使用するときは、手袋を**（　外して　）**作業をする。  推奨電線種以上の太さのケーブルを使用する。  端子接続するための圧着端子の規格もJISに適合させること。  推奨圧着端子は**（　R端子　）**。  通線作業を行う前に管は清掃しておく。電線や器具には傷をつけないように作業する。（電工ナイフで指を切ったり、**（　金づち　）**で指を叩かないように気をつける）  器具の取付や電線の接続等に誤りがないか確認する。  **（　絶縁抵抗計　）**を用いて測定を行う。適切な測定結果が得られない場合は測定を中断し、不良箇所の確認し作業をやり直す。  **（　回路計　）**やベルを用いて回路に誤りがないか確認する。誤りがあればその部分の作業をやり直す。  試験時はブレーカーの開閉状況よく確認して感電することのないように動作確認を行う。 |  |

（　　　　）内に当てはまる適切な語句を選択肢から選んで記入しなさい。

選択肢　　　　　　メガ　　取付　　導通　　通電　　絶縁　　接地　　相回転計　　検電器

金づち　　ガストーチ　　加工　　通線　　ドライバー　　テスター　　接地抵抗計